



2016年2月16日

## サノフィ株式会社とジェンザイム・ジャパン株式会社の 合併に関するお知らせ

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ファブリス・バスキエラ、以下「サノフィ」とジェンザイム・ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:パスカール・リゴディ、以下「ジェンザイム」)は、サノフィによるジェンザイムの吸収合併に向けて準備を開始することを決定しましたので、お知らせいたします。合併効力発生日は、**2016年7月1日**を予定しています。

サノフィは、完全子会社のジェンザイムとの合併により、サノフィ・ジャパングループ内の経営資源の有効な配分と法人体制の最適化を図り、シナジーの最大化を目指します。

ジェンザイムが保有する「ファブラザイム<sup>®</sup>点滴静注用 5mg」、「ファブラザイム<sup>®</sup>点滴静注用 35mg」、「サデルガ<sup>®</sup>カプセル 100mg」、「セレザイム<sup>®</sup>静注用 400単位」、「セレザイム<sup>®</sup>注 200U」<sup>1</sup>、「マイオザイム<sup>®</sup>点滴静注用 50mg」、「アウドラザイム<sup>®</sup>点滴静注液 2.9mg」、「エラプレース<sup>®</sup>点滴静注液 6mg」および「タイロゲン<sup>®</sup>筋注用 0.9mg」の製造販売承認は、合併に伴いサノフィに承継される予定です。

ジェンザイムは 2011 年からサノフィ・グループの一員となり、さらに 2016 年 1 月より、スペシャルティケアのグローバルビジネスユニット「サノフィジェンザイムビジネスユニット」として活動しています。同ビジネスユニットは、希少疾患領域、オンコロジー領域、免疫・炎症領域で構成されています。合併以降、ジェンザイムは新たにサノフィ株式会社サノフィジェンザイムビジネスユニットとして、引き続き日本の患者さんに新たな希望をお届けできるよう、患者さんとそのご家族や医療関係者へ更なる貢献をまいります。

以上

### サノフィについて

サノフィ・グループは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。パリ(EURONEXT: **SAN**)およびニューヨーク(NYSE: **SNY**)に上場しています。日本においては、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンの実現に向けて、患者中心志向に基づき、医薬品等の開発・製造・販売を行っています。詳細は <http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

### ジェンザイム・ジャパンについて

ジェンザイム・ジャパン株式会社は、ジェンザイム・コーポレーションの日本法人として 1987 年に設立され、海外バイオ企業の日本法人としては初めて、他社と提携することなく自社単独で医療用医薬品の開発・販売に成功しました。現在、希少疾患であるライソゾーム病のうち、「ゴーシェ病」「ファブリー病」「ムコ多糖症 I 型」「ムコ多糖症 II 型」「糖原病 II 型(ポンペ病)」に対する 6 つの治療薬と内分泌領域の 2 製品、併せて 8 つの希少疾病用医薬品を販売しています。

<sup>1</sup>「セレザイム<sup>®</sup>注 200U」は 2016 年 3 月に薬価削除するにあたり、現在経過措置移行期間となります